

# 会 議 の 経 過

## 1 開 会 午後3時

(福井教育長) これより第7回教育委員会定例会を開会する。

## 2 前回議事録承認

## 3 議事録署名委員の選出 宮近委員

## 4 議事

### (1) 議案第11号 倉吉市地域学校委員会委員の任命について

学校教育課長 (資料に沿って説明)

教育長 大体5～6名のところが相場ですけれども、10名ぐらいのところもあるようがございます。県会議員さんもいらっしゃるんですね。議員はなってもいいのかな。

学校教育課長 特には。そこまでは。

教育長 それでは倉吉市地域学校委員会委員の任命についてよろしゅうございますか。

(各委員異議なし)・・・承認

## 5 協議事項

### (1) 平成28年度倉吉市教育委員会の重点施策の実績及び評価について

教育総務課長 (資料に沿って説明)

学校教育課長 (資料に沿って説明)

教育長 いかがでしょうか。私が思うに、学校教育施設整備ね、地震が起きてから11月から12月、1、2、3の間に復旧工事しているでしょ。これも入れておけばいいのではないかと思うのだけど。部分的にはしているでしょ。

教育総務課長 部分的にはあります。応急復旧をして、実際には本復旧ではない。準備です。

教育長 これも入れておいてほしい。

教育総務課長 わかりました。

教育長 その他お気づきのことはございませんか。

委 員 評価不能なのか。

教育長 そのほうが正しいでしょう。じゃあ、ここはよろしいでしょうか。では、次に学校教育課。

学校教育課長 (資料に沿って説明)

教育長 ここまでで意見を聞かせてください。学校教育は大変範囲が広いですけれども、2ページ3ページのあたりでいかがでしょうか。

委 員 3ページの人権教育の充実のところですが、今課長が言われた温度差があるというのは、例えば、私たちは温度差があるといわれてもちょっとよくわからないんですけれども。例えばどういう温度差を感じていらっしゃるのか。もし、わかれば教えてください。

学校教育課長 特徴的な取り組みといたしましては、小中連携の中で久米中校区ではホワイトボードミーティングと言って取り組むことを共通理解して学校全体で、それぞれの校区の小中学校が一緒になってやっておられる。ところが、校区によっては共通理解したこ

とがなされていない部分がある、というふうに感じております。ですから、共通理解した部分が中学校区全体で取り組んでいただきたいというふうに考えているということです。

委員

その温度差とは、このページだけじゃないですけども、それぞれの項目で学校ごとに温度差があるということで把握されておられるということなんですけれども、それは教育委員会として温度差があると認識しておられて各学校現場ではやっているよということなのか。それから、温度差に対してどのようななどのような指導をこれからやろうとしておられるのか。もし、あればお聞きしたい。

学校教育課長

この温度差につきましては、やはり先ほどの例でいきますと、共通理解しているという部分におきましては、きちっと校区で行っていただきたいということを指導主事のほうもそちらに出かけさせていただく中で話をさせていただいているところです。

あるいは、今後の改善といたしましては、やはり授業改善等のことも出てきますので、そういった部分。あるいは不登校対応のこともきちっとした部分で共通理解のもと取り組んでいただくということの大切さを今後、出かけさせていただく中で話をさせていただきたいと考えております。

不登校等におきましても、中学校だけでは改善できるものではございませんので、やはりこういった部分、共通理解したことを取り組んでいただくということの大切さを説明させていただきたいと思っております。

委員

今のお話を受けますと、各学校の現場はきちっとやらなければいけないと理解が進んでいて各地区の、校区の住民が、校区ごとの理解の共通認識がなっていない、低いというイメージでとらえさせてもらっていいですか。

学校教育課長

例で言いますと、中学校区で言いますと中学校1につきまして小学校が何校かある。その中でも、やはり共通理解なされたことが、例えばある学校では取り組んでいる中でも他の学校では取り組みが弱い部分がある。決してやっていないわけではないが、弱い部分がある。

委員

なるほど、わかりました。

学校教育課長

今のようなところに確かに指導主事が行って指導をしていくということも必要ですし、また、各学校でも情報交換ね。その中で、あ、うちはまだまだ足りないなど。あ、うちはよくやっとなるなど。場面では主任会でやっていますよね。

そういうのを重ねながら自分の置かれたところを見ていくということが大事ではないかと思っております。

委員

赤ちゃんのいい取り組みだと思っているのですが、これから少なくなるだろうというのは想像がつくのですが、来年度に工夫をとるところで来年度のところできけばいいのでしょうか現実問題、数字的にはじり貧になるんだろうなあと。なにか考えておられるのかということをお聞きしたい。

学校教育課長

本年度につきましては、先ほど言われましたことは課題として挙がっておりますので、各課連携のもと、「乳幼児」とさせていただいております。それで、小学校はなかなか子供たちだけで行きにくい部分がございますので、赤ちゃんの方を集める。それから、中学校の方につきましては、各中学校区に保育園等がございますのでそちらの方に行く。やはり赤ちゃん、未満児のところであいさつをさせていただきという風には各保育園には依頼をしております。ただ、呼び方といたしましては、「乳幼児」とさせていただいているということで、中学校につきましては各保育園に出かけさせていただいて、未満児とあいさつをさせていただきといったところで計画をさせていただ

だいております。

委員

0歳未満、1歳未満ということですか。

学校教育課長

どちらかといいますと、未満児といいますと3歳未満ということになります。

委員

わかりました。

委員

いじめ問題のところですけども、子ども支援センターの活用、中学生は12名なんですけれども、小学生が0というのは、これは働きかけをしているけれどもなかなか活用してもらえないという意味なのか、それ以外のところに対応しているのでセンターまでは必要ないという意味で小学生は0なのかなとちょっと思ったのですけれど。

学校教育課長

こちらの方につきましては、本年度につきましては市内の子供たち、小学校はというところですよ。ですので、他町のほうから小学生で子ども支援センターに行っている子どもがいますし、以前市内の小学校の子どももセンターの方に行っている現状があります。

委員

せっかくあるのに、もしかして対応がなかなかできないのかなという気もしたりしますし、小学生なので親が連れて行って連れて帰らなければいけないので、センターの活用というのが、センターに来てもらうというのがなかなか難しいのかなと思いますのでね。支援センターはせっかくいいところなので、どういう風に活用していったらいいのかということも考えていかなければいけないのかなとこの0を見ると思います。

学校教育課長

特に先ほどの通学の面で送迎というところがネックになってきます。

委員

先ほどと似たようなことですけども、6ページの土曜授業の実施のところ、故郷の学習を中心とした地域との共催となっていますが、ここもやはり地域によって温度差があるとおっしゃっていましたが、学校だけじゃなくて地域との連携をしながらやっていたらいいかと思っております。そのあたりをもう少し詳しく聞かせてもらえたらと思うのですが。

学校教育課長

この土曜授業の温度差といいますのが、学校の取り組みの方で温度差があるということで把握していただければと思います。内容によってというところがあります。地域と本当に連携しながら行事を行ったりと子どもたちと地域の方たちと関わりながらやっていたらいいところもあれば、実際にそうではなくて短時間で終わってしまうようなものを組んで、単発的に終わってしまうというようなところもございますので、やはり計画的に実施していただくことが今後は大事になってくるのではないかなと考えているところです。

今でも計画書は出しているのですが、そういった部分で見直しという部分も今後は必要ではないかと考えております。

委員

せっかく土曜授業で地域の人とふれあうことがより子どもたちにとってはいいことだと思うので、やはりそのあたりの各学校の取り組み、大変だと思うんですけども、地域の人たちの協力を得ながらやっていくことが大事かなと思います。

学校教育課長

委員さんがおっしゃるように考えております。ただ、難しいのが中学校ですね。

特に温度差とっておりますのが、実際のところ、正直なところ中学校の方がちょっと弱いという部分がある。

委員

なにか特別な要因があるのですか。

学校教育課長

やはり教科学習ですね。

教育長

地域が広がりますので、小学校の時のような地域、1地区公民館というような

ではなく、3～4館になりますから、そのあたりがどうしても弱くなるのかなと。中学校独自の課題がやはりあるのだろうと思います。広げなくちゃいけないと思いますが。

委員

地域との連携ということにこだわりすぎてしまって、なかなか連携してもらえるところの見つけが大変なのかなと。あんまりこだわらずに倉吉市を知る学習ってことで、例えば図書館とか博物館とか利用するのもあるのかなと。地域を学校区っていう地域にこだわらずに倉吉市というとらえ方でもいいのかなと思ったりもします。うちの子が中学校の時に1回、ずっと歩いていくのがあったのですけれども、自分の校区以外のところを歩いて行っていろいろな彫刻を見たり、いろんなところを見たりすることで、倉吉市の中でも知らないところをいっぱい見つけたということがあったので、校区にあまりこだわる必要はないのかなという気はします。

教育長

また、そういったところやっていきたいと思います。その他、学校教育課はよろしいでしょうか。

委員

他のページですが、倉吉検定の実施というのは、具体的にはどういうことを考えておられますか。教育委員会がやるべきことなのか、商工会議所と一緒にコラボしてやるのか。要するに、倉吉を知ってもらって人口を増やすとか観光客を誘致するとか、各地区でやっていますよね。そうするとお願いしてもいいじゃないかと。山上憶良の碑もできましたし、伊能忠敬の歩いた道も実際あるわけですよね。上井のほうにも、一緒になってやってもらったらと。ご検討いただければと思います。

教育長

はい。なにか、検定をもらって得したという感じを持たないとね。

委員

土産がほしいですね。

教育長

問作はできていますよね。できていますけど、もう少し目を通さないといけません。

委員

募集なども会議所にお願ひすればいいじゃないですか。

学校教育課長

先ほどおっしゃられたように各課と連携を取りながら、というところですよ。

委員

もう一つ、ちょっとそぐわないかもしれませんが、教職員現場の倫理観教育というのは、このテーマとちょっと外れるかもしれませんが、何か特別に年間を通じてやっておられることがあるのでしょうか。学校教育課として。

教育長

教職員の資質向上というテーマでね。

委員

そうです。やっておられる。

学校教育課長

はい。

委員

それなら、いいです。わかりました。

教育長

コンプライアンスは毎月、行って言っていますね。

学校教育課長

校長会の方では毎月言っています。

委員

道徳も入ることですね。

教育長

学校教育課は以上でよろしいでしょうか。それでは続いて学校給食センター、お願いいたします。

学校給食センター長

(資料に沿って説明)

教育長

給食センターの方はいかがでございますか。

委員

食物アレルギー対応研修会は保護者ではなくて、教職員のみですか。

学校給食センター長

そうですね。教職員の方もおられますけれども、一部PTA役員さんも会に入っている方がございますので、この方にはご案内はしました。

委員

対応の必要なお子さんのところの保護者も一緒にそういう研修があると共通理解ということでもいいのかなと。親の思っているレベルと教職員の思っているレベルが違

うということを結構聞きますので、やっぱり一緒に行くような研修っていうのが今後必要なという気がしますので、ぜひやっていただきたいと思います。

学校給食センター長

わかりました。

委員

14名というのは少ないですね。

委員

対応が必要でもできていないのかなと思います。

教育長

どのレベルでいくかのところですね。これはドクターとかそういったものがあるということですね。

学校給食センター長

診断書を出していただくというところです。

教育長

ですから、それ以前のは結構あると思いますね。そういうアレルギーを持っていたということはあると思いますね。やはり、これについても課題がありまして、できるだけ危ないところはするな、というのが文科省や県の指導ですので、これがまだ下りてない。途中で課題になっているので、これをどうおろしていくかというのが課題。親としてはやってくれと、うちとしては危ないと。

委員

親の認識の方もきっちり本当に危ないのか、危ないと思うというレベルでも言われる方もあったり、その摺合せとか共通理解とかが本当に必要じゃないかと思いません。

教育長

本年度やりかけたけれど途中やめになってしまいましたのでそれだと思います。

その他ありませんか。僕は、ちょっとこれ寂しいなと思うんですよね。これだけえらい目をしたのにといいながら。

委員

おっしゃるようにやったけれども、Aというのは110%以上やらないとAにならない。100%ではならない。やったというだけでは。厳しいですね。

教育長

それから、確かに重点の3つの中ではそうなだけれども、これだけ大騒ぎして、地震以降、ばえたこともちょっと入れておこう。少なくとも、弁当から4町、鳥短、民間業者、これは入れておこう。

委員

それはほしいですね。

委員

いわゆる途中での計画が震災対応でという欄を作られて、Aという評価をされれば。

教育長

あれだけえらい目をしてこれだけというのは、と思いました。恥ずかしくないのだからAを入れておきましょう。どれだけ大変なことをしてきたか、と思います。評価には繋がらなくても、少なくともこれだけ手を打ってきたと書き足りないぐらいあったと思います。ご苦労さんでした。

それではよろしいでしょうか。社会教育、生涯学習課。

生涯学習課長

(資料に沿って説明)

教育長

生涯学習課、いかがでしょうか。自転車のところ、「無事に開催することができた」という評価はちょっと直して、適切な大会運営で評価が高かったにしてください。無事終わっただけではなくて、非常に評価が高かった。素晴らしかったと評判が高かった。

そういう観点からすると、学校教育はシビアだな。Bのオンパレードだ。

やはり、給食センターの1、2、3あるけれども、4にして地震対応にして書いておいてください。地震対応は僕はAだと思う。よく頑張ったと思う。どこに出しても恥ずかしくないと思う。これは28年度しかないのであげておきましょう。

委員

今、生涯学習の説明をされて、Aランクとかついているのは、やっぱり納得できません。先ほど言われるように、給食センターなんかの取り組みも本当に頑張っているのを私たちも、市全体もわかっているのでもいいことだなと思います。やっぱり

A 評価がつくくらいの頑張り、今聞かせてもらっても、私たちが普段聞いていても本当にそうだなあと納得できます。こうやってA ランクがついているのをみていると。

委 員

地震があって以降の館長さんとの研修会ってというのは、結構充実した感じを受けているんですけれども、市とのいい連携が、次回地震があったら取れそうかな。いいなと思いますけれどね。

生涯学習課長

地震の対応についてもですけれども、やはり、これまでから一避難所として公民館としては関わっていただいております。が、やはり、まだ正式な形での取り組みではなかったのかなと皆さんのふりかえりの中でありました。今回、そういう意味では今後において新しいしくみといたしましうか、かかわり方について整理ができたということ、なによりも地区において地区公民館が自主防災的な機能が一番拠点であるということが自ら認識したということがありました。そういった観点から公民館職員のほうがもっともっと本気になってやらないけんということで自ら言ってらっしゃるとお聞きしていた。次に生かしていく仕組みとしていきたいなと思います。

委 員

それはよかったです。

教育長

記録に残るので、社の公民館報日本一もいれておこう。日本一だったな。

生涯学習課長

社地区の公民館報ですが、この地震から以降のですけれども日本一です。公民館での作り方もいろいろありますけれども、社においては編集委員班、大多数が編集員という形をとっていらっしゃいますが、編集委員というものを作りながら、そしてどちらかといえば住民の方が中心でやっていらっしゃるというふうな取り組みとなっております。その中でも、いろいろ行政側からの視点だけではなくて住民側からの視点もしっかり入りながらという地域づくりの観点をしっかり、特集等をつくっていらっしゃるといふ形。集落支援さんの業務もその中にしっかり取り入れておられて、高い評価をいただきました。

教育長

よろしいでしょうか。

(各委員その他ご意見なし)・・・承認

教育長

それでは次は文化財課お願いします。

文化財課長

(資料に沿って説明)

教育長

文化財課のほうはよろしいでしょうか。

(各委員ご意見なし)・・・承認

教育長

それでは博物館お願いします。

博物館長

(資料に沿って説明)

教育長

はい、博物館はいかがでしょうか。工事のほうの進捗が、まあ、やむを得ないかなというところがありましたけれども、それだけではないぞということでありましたものですから。菅盾彦さんはこれ、B 評価でいいの。

博物館長

達成したということでB 評価といたしました。

教育長

110 までいかなかった。

博物館長

はい。入館者がなかなか伸びなかったということがありましたから。もう少しPR 等を強化していきたいと思っております。

教育長

北斎展はよかったんじゃないですか。

(各委員ご意見なし)・・・承認

教育長

それでは、図書館お願いします。

図書館長

(資料に沿って説明)

教育長

図書館、いかがでしょうか。

憶良の1300年ということで大変良かったんじゃないかなと思います。

全般通していかがでしょう。こうなってみると、なんか、学校教育の5ページの倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成あたりはAでもいいんじゃないかと思うんですけど。Bのオンパレードばかりじゃなしに。なんだか寂しいなという気がしますが。地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動はできてきているんじゃないかなという感じはしましたが、でも学校教育審議会は厳しかったですね。

学校教育課長

そうですね。

委員

それぞれ課題を感じておられたですね。

学校教育課長

ただ、教育長がおっしゃられるように、学校教育審議会のほうでもちょっとシビアだなという意見がございました。

教育長

なんかちょっとあれだなと思って。こうやって見ると。全体を眺めてみるとちょっとあれだなあと思って。学校教育課はみんな怠けているの。

委員

Bだから怠けてはいないんだけど

学校教育課長

Bは目標を「達成した」ですから。

生涯学習課長

また、来年に向けての視線合わせがいるかなと思います。

それでは、よろしゅうございましょうか。

委員

(各委員ご意見なし)・・・承認

生涯学習課長

それから、教育委員さんが、例えば生涯学習課などで出られたものがあつたら出してもらって、ここの教育委員会の活性化のところに入れておいてもらえばといいかなと思います。

それでは、2番目の29年度の実施計画について、さらっといきましょう。

## (2) 平成29年度倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施計画について

教育総務課長

(資料に沿って説明)

学校教育課長

(資料に沿って説明)

学校給食センター長

(資料に沿って説明)

生涯学習課長

(資料に沿って説明)

文化財課長

(資料に沿って説明)

博物館長

(資料に沿って説明)

図書館長

(資料に沿って説明)

教育長

まだ計画段階で詳細にはなりませんけれども、これから詰めていくことになるかと思えます。よろしゅうございますでしょうか。

委員

一つよろしいでしょうか。文化財課の計画の中で修繕とかいろいろな復旧等があるんですけども、その他に地域の住民とか市民が参加するような、何か文化財課としての文化継承とか伝統文化を知ってもらうとかそういった取り組みをあるんでしょうから、これを計画の中に取り入れてやっていただけたらと思います。

教育長

はい、また入っていきますのでよろしく申し上げます。

(各委員その他ご意見なし)・・・承認

## (3) 平成29年度土曜授業について

学校教育課長

(資料に沿って説明)

教育長

やはり、これから学習指導要領も変わっていきます。小学校あたりは、もう5、6年生は授業数が増えてきますので、そういった意味ではこの年間15時間出しておいただというのは、非常に有効になるなというふうなことがやっとわかってきましたので進めていきたいと思えます。

6 教育長報告

- 教育長報告（教育長 別紙のとおり）

7 報告事項

- 教育総務課（教育総務課長 資料に沿って説明）
  - (1) 平成 29 年度倉吉市教育委員会事務局機構について
  - (2) 議会の委任による専決処分について
- 学校教育課（学校教育課長 資料に沿って説明）
  - (1) 区域外就学・校区外就学の承認について
  - (2) 不登校・問題行動の状況について
  - (3) 適正配置市民説明会について
- 生涯学習課（生涯学習課長 資料に沿って説明）
  - (1) 平成 29 年度倉吉市社会教育関係資料（別冊で提出）
  - (2) 社会体育施設の利用状況について
  - (3) 倉吉市で開催されることが予定されている大規模スポーツ大会について
  - (4) 倉吉市社会教育委員の委嘱について
  - (5) 工事請負契約の締結について（市営陸上競技場災害復旧工事）
- 文化財課（文化財課長 資料に沿って説明）
  - (1) 淀屋烏飼家利用状況について
  - (2) 文化財保護審議会専門委員の委嘱について
  - (3) 印刷した本（報告書、活用計画等）について（別冊で提出）
- 倉吉博物館（倉吉博物館長 資料に沿って説明）
  - (1) 倉吉博物館協議会委員の委嘱について
- 倉吉市立図書館（倉吉市立図書館長 資料に沿って説明）
  - (1) 山上憶良伯耆守赴任 1300 年記念事業総括の報告について
  - (2) 平成 28 年度倉吉市立図書館の利用実績について
- 学校給食センター（学校給食センター長 資料に沿って説明）
  - (1) 平成 28 年度学校給食用食材の生産地別使用状況について
  - (2) 平成 28 年度給食費の収納状況（3 月末）について
  - (3) 平成 28 年度学校給食アンケートの実施結果について
  - (4) 学校給食の再開について

教育長                    たくさんありましたけれども、これはぜひ読んでおいてください。これは力作でございます。学芸員がテープ起こしを夜な夜なやりましたので、これはすごいなと思います。逐一シンポジウムと講演会の様子を全部入れておりますので、よくわかると思います。よく見てやってください。

委 員                    不登校関係のところですけども、12 ページですが、この 1 月から 1、2、3 月と理由のその他が増えてきているなどちょっとみていたんですけども、病気か不登校以外でその他っていうのが。

学校教育課長           「家庭の状況」があります。

委 員                    病気でもないし、本人が行きたくないわけでもないが家庭の状況が、ですか。

学校教育課長           昨日も小学校の子どもから相談がありましたけれども、家庭状況で、というところ



です。各関係課で関わっている案件なのですが、なかなかそこでも解決せずにいる。そういったところがやはり上がってきてしまう。

委 員

この辺がやっぱり難しいところで、学校だけでは難しいところですね。

学校教育課長

はい。ですから子ども家庭課、福祉課、児童相談所にも関わっていただいている。

委 員

また、増えだしたなというのがこの前から気になっておりました。

ありがとうございます。

## 8 その他

次期委員会について調整し、次のとおり決定

日 時：平成 29 年 5 月 25 日（木）午後 1 時

場 所：倉吉市役所 第 3 会議室

午後 5 時終了

## 9 閉会